

授業の工夫改善、教職員の研修に対する県教育委員会の支援

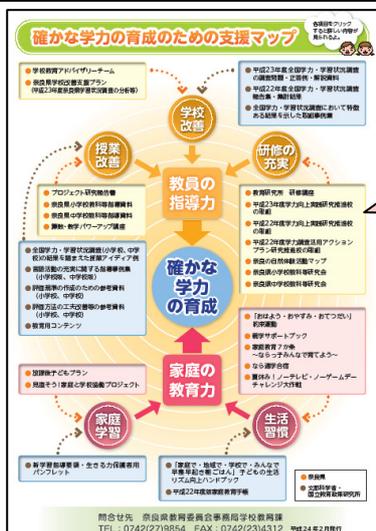
県教育委員会では

- ・指導主事が学校や市町村教育委員会の要請に応じて訪問しています。
- ・学校教育アドバイザーチームが学校を訪問し、授業や学級・学年経営等についても広く懇談しています。
- ・県立教育研究所で実施している研修講座では、活用する力を意識したり、意欲を高める工夫を取り入れたりする内容を盛り込んだ講座を次のように開講しています。

- 「言語活動の充実を図る研修講座」
- 「理数教育の充実を図る研修講座」
- 「伝統や文化に関する教育の充実を図る研修講座」
- 「道徳教育の充実を図る研修講座」
- 「体験活動の充実を図る研修講座」
- 「外国語活動の充実を図る研修講座」
- 「子どもの体力向上指導者養成研修講座」 等

- ・県立教育研究所でのプロジェクト研究の成果の周知を図っています。
- ・学力向上フォーラムを開催しています。
- ・算数・数学の基礎的・基本的な内容の定着を図るため、領域別に構成したワークシート「わくわくワーク」を配付しています。
- ・算数・数学パワーアップ講座をWebページに掲載しています。
- ・小・中学校教科等指導資料を配付しています。
- ・支援マップからいろいろな資料等をダウンロードできるようにしています。

支援マップ



支援マップの各項目をクリックすると詳しい資料が見られます。

<http://www.pref.nara.jp/secure/77955/h24gakuryoku.pdf>

確かな学力の育成

重点

基礎・基本の定着を図り、それらを活用する力を育む

■ 幼稚園

- ・ 調べる、比べる、尋ねるなどの様々な手法を組み合わせ、楽しみながら課題を見だし解決する活動を工夫する。
- ・ 感じたことや経験したことを自分なりの言葉で表現する力を育成する。

■ 小学校

- ・ 個に応じた指導の充実とともに、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、繰り返し学習などの学習活動を工夫する。
- ・ 各教科等において、記録、要約、説明、話し合いなどの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

■ 中学校

- ・ 個に応じた指導の充実とともに、小学校の学習内容を考慮し、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、繰り返し学習などの学習活動を工夫する。
- ・ 各教科等において、記録、要約、批評、論述などの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

■ 高等学校

- ・ 個に応じた指導や中学校における学習との系統性を考慮し、知識及び技能を定着させるため、学習活動を工夫する。
- ・ 各教科等において、編集、解説、批評、討論などの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

■ 特別支援学校

- ・ 「個別の指導計画」に基づいた効果的な学習指導を展開する。
- ・ 発達段階、障害の状態及び特性等に応じた自立を目指し、自ら働きかける力を養う。

支援するための取組

- **わくわくまなびフェスタの開催**
子どもの「学習意欲の向上」を目指し、県内の学校関係者、諸団体の多様な教育力を結集し、様々な学びの場の具体例を示すことで、子ども、教員、保護者に学びへの気付きとなる機会を提供する。
- **奈良県小学校・中学校教科等指導資料**
学習指導要領改訂の趣旨及び本県の課題を踏まえた指導資料を示し、児童生徒への指導に役立てるとともに、新学習指導要領の円滑な実施を図る。
- **奈良県学校改善支援プラン**
全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、各市町村教育委員会や小・中学校が、このプランを活用し、自らの取組の課題を明らかにし、授業改善等に役立てる。
- **確かな学力の育成に係る実践的調査研究**
各学校や地域の実情・課題に応じた授業、指導方法の工夫・改善についての実践研究、全国学力・学習状況調査の結果を活用した調査研究を実施し、児童生徒の学力の向上を図る。
- **学力向上フォーラム**
県内小・中・高等学校における学力向上を図る取組や成果について実践発表等を行うとともに、全国学力・学習状況調査の分析結果から、課題解決への道筋を探る。
- **「奈良の伝統、文化、自然等に関する学習」の指導資料(高等学校)**
奈良の伝統、文化、自然等に関する探究的な学習の指導資料を作成し、生徒への指導に役立て、国際社会の中で新しい文化を創造する力を養う。

など

「平成24年度学校教育の指導の重点」 奈良県教育委員会 より

関連ホームページアドレス

<http://www.pref.nara.jp/secure/39466/H24sidoujiyuuten.pdf>

生活習慣の改善

規範意識の育成

きまりやルールに対する意識を高めましょう。
学校・家庭・地域が連携するシステムをつくりましょう。

★★★ 基本的な生活習慣の確立を目指す ★★★

- ⇒ 家庭での生活習慣、学習習慣等の改善に向けた啓発を行う。
- ⇒ 自ら取り組むことができるような家庭学習の課題の出し方を工夫し、家庭学習の目標を立てる。
- ⇒ 学校に行くまでに持ち物を確認することや、テレビを見たりゲームをしたりする時間のルールを決めることなど、生活習慣に関する事柄を個人懇談や学級懇談会の話題として取り上げる。
- ⇒ 家庭の教育力向上のためのリーフレット、「家庭教育7か条」や「親学サポートブック」等を活用する。 等

★★★ 規範意識を高める指導を目指す ★★★

- ⇒ きまりやルールの必要性を実感させる指導の工夫を行う。
- ⇒ 学習規律の確立を目指す。
- ⇒ 掃除や片付け等、家庭の仕事について、家族の一員として児童生徒が役割をきちんと分担することの大切さを啓発する。
- ⇒ 年中行事や地域の行事等に積極的に参加するよう啓発する。 等

★★★ 学校・家庭・地域が連携できるシステムづくりを目指す ★★★

- ⇒ P T A行事の一環に、家庭教育に関連する講演会等を位置付ける。
- ⇒ 保護者や地域住民に対して、積極的に自校の取組や評価等の情報を公開する。
- ⇒ 自由に参観できる学校公開日を積極的に設ける。
- ⇒ ゲストティーチャーの活用等、地域のサポート体制を設ける。 等

生活習慣の改善、規範意識の育成に対する県教育委員会の支援

県教育委員会では

◎家庭の教育力向上と子どもたちの生活習慣の確立を目指して、啓発リーフレットを作成・配付しています。

- これまでに作成・配付した家庭教育に関わる資料

「親学サポートブック 一子どもと向き合って」（乳幼児期編）

「親学サポートブック 一思春期の子どもをもつ保護者のために」（思春期編）

「16事例で考える小学校と家庭との連携」

指導者のための家庭教育サポートブック「きらきら育て 今日から明日へ」

「家庭教育7か条 一ならっ子 みんなで育てよう」

- その他の取組

「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動

「夏休み！ノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ大作戦」

さらに、家庭における規範意識を高めるための研修講座や乳幼児や思春期の子どもをもつ保護者への対応のための研修講座を開催しています。

◎規範意識を高めるために、子どもの規範意識向上委員会の提言、小・中学校生徒指導ガイドラインを作成・配付しています。

◎地域による子育て意識の高揚を図り、学校における学習活動の効率化や子どもの規範意識の向上、体力向上などを図るために、学校・地域連携事業を推進しています。

◎児童生徒の問題行動の減少及び高等学校の中途退学者の減少を目指して学校サポーターを配置しています。

◎豊かな経験と専門的知識や技術をもつ方にコミュニティチャーとして県立学校の講師（ボランティアによる非常勤講師）になっていただき、より実践的な特色ある授業の手助けをしてもらっています。

奈良県先生応援サイト <http://www.nps.ed.jp/ouen/>



ここから資料・データをダウンロードできます。



豊かな人間性の育成

重点

正しく判断し、行動する力を育む

■ 幼稚園

- ・身近な人々との関わりを深め、愛情や信頼感、他の人を思いやる心を育む。
- ・自然や身近な動植物に親しませ、生命を大切にすることを育む。
- ・協同して遊ぶことを通して、よいことや悪いことに気付かせ、ルールを守ろうとする態度を養う。

■ 小学校

- ・自分や他の人を理解し、生命を大切にすることを育む。
- ・集団宿泊活動や自然体験活動などを通して、基本的な生活習慣や社会生活上のルールを身に付けさせる。

■ 中学校

- ・自分や他の人への理解を深め、生命を大切にすることを育む。
- ・職場体験活動やボランティア活動などを通して、社会生活上のルールやマナーを身に付けさせ、社会参画しようとする態度を養う。

■ 高等学校

- ・人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念を深め、他者と共に主体的に生きる能力と態度を育てる。
- ・就業体験やボランティア活動などを通して、法やルールの意義を理解し、社会の一員としての自覚を深めさせる。

■ 特別支援学校

- ・経験の拡充を図ることで、人の心情を理解する力や判断力を身に付けさせる。
- ・集団に参加することを通して、自分の役割を理解し、行動する力を育む。

支援するための取組

●ふれあいフェスタの開催

動物とのふれあい、動物についての学習や体験を通して、命の尊さを実感し、思いやりの心や規範意識を育む。

●「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動

親子の関わり方を見直すことを通して、家庭の教育力を向上させ、幼児期における子どもの基本的な生活習慣の向上や規範意識の芽生えを培う。

●夏休み!ノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ大作戦

夏休み期間中に、テレビを見たりゲームをしたりする時間を、読書や学習、家庭での会話などに活用することを通して、規則正しい生活のリズムや基本的な生活習慣などを身に付けるとともに、家庭での会話の一層の促進を図る。

●人権教育資料等の作成

「人権教育の推進についての基本方針」などを踏まえ、知識・態度・技能面のバランスのとれた系統的・体系的な人権教育のための教材を作成し、人権尊重の社会づくりに向けて主体的に行動できる児童生徒の育成に役立てる。

●生徒指導ガイドライン

児童生徒の規範意識の醸成を図るため、生徒指導の在り方についてのガイドライン(小・中学校向け、高等学校向け)を活用し、生徒指導の充実に役立てる。

●道徳教育「奈良県郷土資料」

郷土奈良の自然、伝統と文化などを取り上げ、小学校低、中、高学年及び中学校用の郷土資料を作成し、郷土を愛する心を育む道徳の時間等の指導の充実に役立てる。

など

「平成24年度学校教育の指導の重点」 奈良県教育委員会 より

関連ホームページアドレス

<http://www.pref.nara.jp/secure/39466/H24sidoujyuuten.pdf>

チェック機能の充実

学校・家庭・地域が連携するシステムをつくりましょう。
学校全体で取り組むシステムをつくりましょう。

評価の観点等は、はじめに作成した改善プランを基に作成します。

学校で定めた重点目標に基づいて取組の成果と課題を検証し、取組の修正を行います。

自己評価だけでなく学校関係者評価も評価項目を設けて実施に努め、評価結果や改善に向けた方策を積極的に公表しましょう。

参考となるホームページアドレス一覧

文部科学省	http://www.mext.go.jp/
国立教育政策研究所	http://www.nier.go.jp/
奈良県教育委員会	http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid=1691.htm
奈良県立教育研究所	http://www.nps.ed.jp/nara-c